

News Photo

2018年7月30日



BASF ジャパン戸塚工場、社会貢献活動の一環として「第 43 回 夏祭り」を開催

世界をリードする化学会社 BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)の日本法人、BASF ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:石田博基)は、7月27日(金)、戸塚工場(横浜市戸塚区)内のグラウンドを開放して「第 43 回夏祭り」を開催しました。この催しは、自動車用塗料・二輪車用塗料などの製造・開発を行う BASF ジャパンの戸塚工場が地域社会への貢献として毎年開催しているもので、今年も 1600 名を超える来場者で賑わいました。

夏祭りでは、地元の子ども会や自治会によるパフォーマンス、スイカ割り、抽選会といった例年人気のイベントが繰り広げられました。また、子どもたちに「化学」の楽しさを

伝えるために BASF が世界各国で実施している「子ども実験教室」のミニ版も開催しました。今年の実験は「ペンの色のヒミツをさぐろう(Paper Chromatography)」。約 130 名の子どもたちが、性質の違いを利用して化合物に含まれる物質を分離・精製する「クロマトグラフィー」の基礎的な手法を用いてインクに含まれる物質を分け、オリジナルの模様づくりを楽しみました。



■日本の BASF について

BASF は 1888 年より日本市場のパートナーとして事業活動を行っています。事業分野は、化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品の 4 分野です。国内では建設化学品事業部の製造センター16 カ所を含む 24 の生産拠点の他、兵庫県尼崎市、神奈川県横浜市、神奈川県茅ヶ崎市、千葉県山武市に研究開発拠点を設けています。2017 年の BASF の日本での売上高は約 17 億ユーロ(約 2,100 億円)、従業員数は 1,087 人です。日本の BASF に関する詳しい情報は www.basf.com/jp をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーイーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 115,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの 5 つの事業部門から成ります。2017 年の BASF の売上高は約 645 億ユーロでした。BASF は、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASF の詳しい情報は、www.basf.com をご覧ください。